

応募者

〔学校名〕 大阪府立西野田工科高等学校
〔部活動等名〕 工業デザイン系

制作意図

一度ぐらいなら大丈夫だろうと軽い気持ちで、興味本位に違法薬物等に手を出してしまうと、自分の人格がどんどん変わり、自分のことを心配してくれる大切な友達にもひどい態度を取ってしまう。ふと我に返って後悔して、違法薬物等を投げ捨てても、なぜか両手いっぱいの違法薬物。そして幻覚…。そんな未来は絶対に選ばない（違法薬物等には絶対に手を出さない）という強い気持ちを、大切な仲間と宣言して表現しました。

キャスト

〔シナリオ〕 越田 孔士
〔撮影〕 幸 飛雄馬
〔ナレーター〕 幸 飛雄馬
〔出演〕 生徒 A: 中島 諒 生徒 B: 菅野 風冴 生徒 C: 児玉 空
 生徒 D: 太田 隆斗 生徒 E: 酒井 遊馬 生徒 F: 坂本 清司
 生徒 G: 田中 陸太 生徒 H: 矢野 広志 生徒 I: 山崎 陸空

著作物








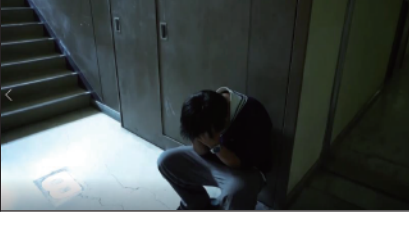
〔音楽〕 音・辞典 VOL.7 [BGM&ME / フュージョン]
 ファイル名: A7_03018 真夜中の侵入者
 ファイル名: A7_04030 ショック

〔パソコンソフト〕

Adobe Premiere CC
Adobe After Effects CC
Adobe Photoshop CC

〔動画〕 自分たちで撮影・作成

シナリオ

シーン	画面	内容	セリフ	時間
1		生徒 A が校内の階段踊り場で違法薬物の入った袋を見ている。	生徒 A 「一回ぐらい、大丈夫だろ」	0~1 秒
2		違法薬物の入った袋のアップ		1~2 秒
3		突然、友達（生徒 B）に声をかけられるが、適当にその場をごまかす。	生徒 B 「おう、なにしているん」 生徒 A 「何もないよ・・・」	2~4 秒
4		違法や薬物を摂取するイメージの映像。生徒 A がフラフラと廊下を歩いている。そこに友達（生徒 C）が心配して声をかける。	生徒 C 「大丈夫？」	4~7 秒
5		友達をうっとおしく思い、友達をつかみかかるが、我に返る。一言謝って、その場を去る。	生徒 A 「うるさいねん・・・」 「ご、ごめん・・・」	7~10 秒
6		逃げるように階段の壁に隠れる。	ナレーション 「簡単に止めることが出来たと思ってた」	10~14 秒
7		ポケットから違法薬物を出して、投げ捨てる。	ナレーション 「でも、そうじゃなかった」	14~16 秒
8		自分が変わっていく恐怖と、違法薬物に手を出した後悔に震えて、頭を抱える。		16~17 秒

シナリオ

9		頭から両手を下すと…		17~17 秒
10		先ほど捨てたはずの、違法薬物が手のひらに。 しかも一つではなく、両手いっぱい の違法薬物がある。 (違法薬物を止めたくても止められないイメージを表現)		17~18
11		捨てたはずの違法薬物がさら も増えて自分の手のひらにあり、 恐怖を感じているところに、 不気味な雰囲気を感じ顔を 上げてみると…	怪しい物音 「うおー」	18~20
12		生徒 A を違法薬物の世界に引 きずり込もうとする、怪しい 手が襲ってくる。 (違法薬物からは抜け出せない ぞというイメージ)	生徒 A 「うう！」	20~21
13		生徒 A が映像を横に押し出 す。今まで見ていた映像は、 空中に写し出されていた映像 だった。 (ここまでの話は架空のこと。 違法薬物の恐怖を伝える)		21~24
14		「NO DRUG」の文字が現れる。 生徒全員が強い気持ちで、違 法薬物に手を染めないことを 宣言する。	生徒 A 「こんな未来は選ばな い」 生徒全員 「だから、NO DRUG」	24~28
15		映像が薄くなり、 「文部科学省」 「大阪府立西野田効科高等 学校 工業デザイン系」の文 字が現れる。		28~30